



# 埼玉県リーグ 1 部開幕戦！

2011 年 4 月 3 日(日) 桶川市新小針領家グラウンド 13:00 KICKOFF vs 坂戸シティフットボールクラブ

1968 年(昭和 43 年)のクラブ創立以来初の県リーグ 1 部に挑む狭山ラトルズ SC は、開幕戦で県リーグ 1 部連覇中の王者・坂戸シティフットボールクラブと激突する。華麗なパスサッカーを武器に関東地区でも有数の強豪として名を馳せる坂戸シティ FC に対し厳しい戦いが予想されるが、連盟会長杯準々決勝さいたま SC(関東リーグ 1 部)戦で見せた粘り強い守備から、昨年のリーグ得点王内川を中心としたスピードのあるアタッカー陣を生かしたカウンターで勝機を見出したい。

## 絶対王者・坂戸シティ FC の牙城を崩せるか

坂戸シティ FC 登録選手一覧

3 年連続で関東社会人サッカー大会に出場中で今年も関東リーグ昇格の有力候補に挙げられる坂戸シティ FC の注目選手はエースの 9 鈴木竜基。浦和レッズユースからルミノッソ狭山 FC を経て坂戸シティ FC に加入。ルミノッソ狭山 FC 在籍時には関東リーグ 1 部で得点王に輝くなど、特にペナルティボックス内で威力を発揮する得点感覚の優れたストライカー。幅広いプレーエリアを持つ 7 矢内との 2 トップは脅威だ。

豊富なタレントを揃える中盤の中で特に目を引くのが 8 山崎の存在。度々埼玉県国体代表に名を連ねる彼の特徴は類稀なテクニック。吸い付くような柔らかいタッチと緩急を織り交ぜた変幻自在のドリブルを武器に坂戸シティ FC の攻撃陣を牽引する。他にも飯能ブルーダー(現 AC アルマレッザ)やルミノッソ狭山 FC 在籍時に関東リーグで戦った豊富な経験を持つ 14 中居、クラブ創立時から大黒柱として中盤の底に君臨する 10 大貫、優れた戦術眼を持つプレイングマネージャー 17 熊谷、県リーグ選抜選出以来著しい成長を見せる 6 齊藤など、中盤の布陣に全く穴は見当たらない。

攻撃陣ばかりに目が行きがちだが、元日立栃木ウーヴァの守護神 1 馬淵を中心とする組織的な守備も強固だ。リーグ戦開幕前に開催された第 1 回埼玉県サッカー協会 1 種選手権大会では準決勝で PK 戦の末平成国際大学に敗れたものの、グループリーグ・トーナメントを通じ運動量豊富な大学勢と 3 試合戦い 1 勝 2 分。押し込まれた試合でも研ぎ澄まされた集中力と全員がハードワークを続けるまとまりの良さでスコアを整えるしたたかさはもはや県リーグレベルを超越していると言えるだろう。

## 前線のスピードを生かしたカウンター勝負

終始劣勢が予想されるゲームで鍵を握るのは、アタッカー陣のスピードを生かしたカウンターでフィニッシュまで持ち込めるか否か。分が悪い中盤では手数を掛けず、奪ったら素早く相手ゴールへ向かってアクションを起こす速い攻撃で勝利への糸口を掴みたい。

今シーズン加入した元 J リーガー 7 千島は残念ながら仕事の都合により合流が遅れた為開幕戦までにトップコンディションをやる事ができなかったが、昨シーズン 18 ゴールを挙げ県 2 部得点王に輝いた 23 内川とチーム随一の決定力を誇る 21 虫本の二人が好調を維持していることに加え、平成国際大学から今季加入した強力センターフォワードの 99 牧田も公式戦デビューをハットトリックで飾るなど期待通りの働き。さらに昨シーズン仕事の関係でリーグ戦半分以上を欠場しながらも 7 試合出場で 12 ゴールを挙げた大黒柱 15 田嶋も徐々にトップフォームを戻しつつあり、鍵を握る攻撃陣は万全の状態と言えるだろう。

ラトルズ伝統の縦に速い攻撃を武器に、番狂わせを狙いたい。

1	GK	馬淵 浩	33	栃木 UVA
2	DF	今井 伸仁	28	平成国際大
3	DF	大貫 悟	27	北坂戸 SC
4	DF	水沢 雅之	29	ブルーダー
5	DF	羽下 正博	28	北坂戸 SC
6	DF	齊藤 雄太	24	平成国際大
7	MF	矢内 徹	28	城西大
8	MF	山崎 功二	28	尚美大
9	FW	鈴木 竜基	22	ルミノッソ
10	MF	大貫 真吾	29	武蔵越生
11	FW	山田 健太	29	平成国際大
12		サポーター		
13	DF	中武 秀喜	29	武蔵越生
14	MF	中居 剛士	25	ルミノッソ
15	DF	神山 真也	29	小川
16	FW	森 慶太	20	アルテ高崎
17	MF	熊谷 哲平	32	ブルーダー
18	GK	佐々木 康人	27	アゼイリア
20	FW	安藤 直幸	29	拓殖大
22	DF	安楽 将和	24	神奈川大
24	DF	鈴木 渉	28	城西大
26	MF	小川 朋泰	33	農大三
27	MF	松本 浩平	18	国士館
28	GK	野口 桂佑	26	A 川口

坂戸シティ FC 2011 年公式戦成績

埼玉県サッカー協会 1 種選手権大会  
グループリーグ

○1-0 vs ルミノッソ狭山 FC

△0-0 vs 城西大学

○3-2 vs 埼玉大学

順位決定トーナメント

●1(3PK5)1 vs 平成国際大学

中止 vs AC アルマレッザ

最終成績 3 位タイ

## 埼玉県リーグ 1 部

2011 年度の埼玉県リーグ 1 部は、昨年度残留の 6 チームと県 2 部から昇格の 2 チームに、関東リーグ 2 部から降格したルミノッソ狭山 FC を加えた 9 チームで行われる。

上位 4 チームが関東社会人大会出場、最下位の 9 位が自動降格、8 位は県 2 部 2 位プレーオフ勝者と入れ替え戦を行う。関東リーグとの昇降格があった場合は下位チームの降格数を調整。尚、翌 2012 年度は 10 チーム制に移行することが予定されている。

2011 年度県リーグ 1 部 チーム構成

チーム名	昨年度成績
ルミノッソ狭山 FC	関東リーグ 2 部 8 位
坂戸シティ FC	県リーグ 1 部 1 位
FC 西武台	県リーグ 1 部 2 位
パイオニア川越	県リーグ 1 部 3 位
飯能セボジータス	県リーグ 1 部 4 位
武南クラブ	県リーグ 1 部 5 位
浦和レッズアマ	県リーグ 1 部 6 位
越谷 FC	県 2 部 A ブロック 1 位
狭山ラトルズ SC	県 2 部 B ブロック 1 位

※H&A の 2 回戦総当たり。

最近 10 年間の県 1 部覇者と関東リーグ昇格

年度	県リーグ 1 部優勝	関東リーグ昇格
2010	坂戸シティ FC	—
2009	坂戸シティ FC	—
2008	パイオニア川越	—
2007	アヴェントゥーラ埼玉	—
2006	FC 西武台	与野蹴魂会
2005	飯能セボジータス	—
2004	飯能ブルーダー	飯能ブルーダー
2003	飯能ブルーダー	—
2002	佐川急便埼玉	—
2001	飯能ブルーダー	—

## リーグの展望

今シーズンも最有力は坂戸シティ FC。連覇を達成した過去 2 年のリーグ戦成績が示すように、個々の能力・組織力共に頭一つ飛び抜けた感があり、その実力と安定感他は他の追従を許さない。3 年連続出場中の関東社会人においても 2008 年は tonan 前橋(群馬・現在関東 1 部)に僅差の敗戦、2009 年は佐川コンピューターシステム(東京・SC システム→V.F.C 1st 現在東京都 1 部)に PK 負け、2010 年も横浜猛蹴(神奈川・現在関東 2 部)に PK 負けと、敗れた 3 チームがことごとく関東リーグに昇格しており、実力的に見ても関東リーグ勢と全く遜色は無い。

対抗馬とされるのは関東 2 部から降格したルミノッソ狭山 FC。一昨年関東 1 部、昨年は関東 2 部で共に最下位での連続降格だが、昨年の関東 2 部では近年稀に見る混戦に巻き込まれた形で 5 勝 6 敗 3 分とほぼ五分の星に近い成績を残しながらの最下位。最終節まで関東 1 部昇格となる 2 位の可能性も残されていたことを考えればまさに不運としか言いようがない今回の降格劇。実力的には関東リーグレベルの力を維持していると考えて間違いはないだろう。

2 強を追い掛けるのがリーグ前に行われた彩の国カップ兼連盟会長杯で優勝を成し遂げたパイオニア川越。昨年県リーグ 3 位で出場した関東社会人での SC 相模原との熱戦は記憶に新しいが、今年さらに複数の有力選手を加え約 30 年ぶりの関東リーグ復帰を狙う。

4 位まで椅子が用意されている関東社会人出場枠で鍵を握るのが昨年 2 位の FC 西武台と 4 位の飯能セボジータス。FC 西武台は昨シーズン 20 得点を挙げ得点王の座に就いたエース 20 渡辺が就職の関係で今シーズンの参戦が危ぶまれているという情報も流れているが、母校との太いパイプを持つ FC 西武台だけにその穴を埋める人材の確保は意外に早いのではないかと推測される。10 木村、11 高橋ら中心選手も成熟度を増してきており、昨年に続き上位での関東社会人出場の可能性も十分に考えられる。

県内最強 FW9 保谷を擁し毎年安定的に好成績を残す飯能セボジータスは、Aventura Kawaguchi から俊足 FW18 塚本を獲得。9 保谷、10 菅波の強力 2 トップに、保谷に匹敵する爆発的な加速力を持つ塚本が加わり恐ろしいまでの攻撃陣が完成された。3 立入、5 澤田ら鉄壁の守備陣も円熟期に入っており、攻守が噛み合えば上位を脅かす存在になるだろう。連盟会長杯では初戦まさかの取りこぼしで貴重な公式戦の経験を数試合失うことになったが、団結力が高く経験も豊富な飯能セボジータスだけにリカバリーは早いと予想される。

しかし近年の成績で優位に立つ上記 5 クラブだが、実力者のひしめき合う県 1 部では全く予断を許さない状況。強大なバックボーンを背に、元 J リーガーを含め高い技術を持つ選手を大量に揃える強豪浦和レッズアマは、一昨年、昨年と 2 年連続で県 2 部との入替戦に回るようになったが、ベストメンバーを揃えた時の技術力の高さはリーグでも屈指。さらに、長い歴史と伝統、実績を併せ持つ武南クラブと越谷 FC の両チームも侮れない存在。共に県 1 部での戦い方を知り尽くしており、ラトルズにとって手強い相手になることは間違いない。

実績では他 8 チームに圧倒的に劣るものの、その分長い下積み時代を経験しエネルギーを蓄積したベテランと、これから全盛期に突入する中堅、そして確かな技術を持つ若手が見事に融合し、爆発的な勢いを持つ狭山ラトルズ SC。どのチームが 4 位以内に食い込んででも全くおかしくないハイレベルな戦いが予想される。

# 狭山ラトルズサッカークラブ

1968年(昭和43年)に狭山市内の若手有志十数名の手によって誕生。長らく狭山市リーグを拠点とし楽しむことをモットーに活動を行っていたが、2001年に新設された県リーグ3部に戦いの場を移してからは急速に競技志向が高まり、2004年に初の県2部昇格。そして2011年、遂に県内最高峰埼玉県リーグ1部に挑戦することとなった。

## クラブ概要

- ▽創立 1968年(昭和43年)10月
- ▽ホームタウン 埼玉県狭山市
- ▽所属ディビジョン 埼玉県リーグ1部
- ▽チームカラー グリーン(狭山茶の緑)  
レッド(狭山市の花つつじ)
- ▽登録選手数 29人
- ▽選手平均年齢 26歳
- ▽スタッフ 代表 佐藤義男  
監督 熊田智章  
コーチ 井上育夫  
コーチ 石川泰之  
主将 佐渡屋悠  
主務 荒井亮介  
会計 経塚直己

## 登録選手一覧

1	GK	渡辺 周平	29	173/72	ウォーリーズ
2	DF	日野 悠人	20	168/58	伊奈学園
4	MF	中嶋 義治	34	171/70	川越 TEENS
5	DF	中村 元希	21	181/68	伊奈学園
6	FW	熊田 智章	36	165/58	聖望学園
7	MF	千島 徹	29	170/58	愛媛FC
8	MF	細田 賢吾	33	168/54	入間向陽
9	MF	山田 宗幸	24	171/60	埼玉栄
10	DF	井上 育夫	36	170/68	西武台
11	FW	斉藤 延和	33	177/70	川越 TEENS
12	MF	佐渡屋 悠	30	172/60	所沢北
13	DF	小澤 雄太	21	173/73	帝京
14	DF	石川 泰之	33	178/66	川越 TEENS
15	FW	田嶋 裕	33	183/73	川越 TEENS
17	DF	加藤 俊介	27	175/62	川越南
18	MF	細田 耕平	24	168/52	埼玉栄
19	DF	荒井 亮介	30	173/64	農大三
20	DF	経塚 直己	27	173/62	川越南
21	FW	虫本 晋太郎	29	170/58	ウォーリーズ
23	FW	内川 朋也	29	177/71	久喜FC
24	MF	高橋 祐介	30	176/65	東京工業専
25	MF	東門 達也	26	174/65	本郷
26	MF	中村 芳朗	30	170/60	西武台
28	DF	波多 隆秀	21	180/66	西武台
31	GK	富川 顕司	30	177/72	東海大
33	GK	小林 正英	35	185/99	日大
48	MF	岡崎 祐太	24	174/63	専修大
55	GK	相田 拓也	31	178/85	川越 TEENS
99	FW	牧田 淳一	22	167/77	平成国際大

## ▽2011年 公式戦成績

### 彩の国カップ二次予選兼社会人連盟会長杯決勝R

- 1回戦 シード
- 2回戦 O5-4 vs SFC(県3部南)
- 3回戦 O3(4PK2)3 vs 川越全酪SC(県2部)
- 準々決勝 ●0-3 vs さいたまSC(関東1部)
- 準決勝敗退(ベスト8) 順位決定戦へ

### 同5位~7位決定戦

- 1回戦 O7-2 vs Aventura Kawaguchi(県2部)
- 5位決定戦 中止 vs F-children(三郷市)
- 最終成績 5位 彩の国カップ本大会進出

## ▽2011年 埼玉県リーグ1部日程

### 前期(4月3日~5月29日)

節	月日	会場	時間	対戦相手
1	4/3	桶川新小針	13:00	坂戸シティFC
2	4/10	ホンダ寄居	11:00	ルミノッソ狭山
3	4/17	しらこぼと	12:00	FC西武台
4	4/24	飯能美杉台	12:00	越谷FC
5	5/1	飯能美杉台	9:30	武南クラブ
6	5/8	—	—	—
7	5/15	赤坂の森	12:00	セボジータス
8	5/22	埼玉スタ第4	11:00	パイオニア川越
9	5/29	赤坂の森	12:00	浦和レッズアマ

### 後期(6月5日~9月25日)

節	月日	会場	時間	対戦相手
10	6/5	深谷仙元山	10:00	坂戸シティFC
11	6/12	赤坂の森	10:00	ルミノッソ狭山
12	6/19	リコー	14:00	FC西武台
13	6/26	深谷仙元山	13:00	越谷FC
14	7/31	赤坂の森	12:00	武南クラブ
15	9/4	—	—	—
16	9/11	赤坂の森	12:00	セボジータス
17	9/18	赤坂の森	12:00	パイオニア川越
18	9/25	埼玉スタ第4	13:00	浦和レッズアマ

※会場及び時間は変更される場合があります。詳しくは県社会人連盟もしくは弊クラブウェブサイトでご確認ください。

# 和

チームに一番必要なものは何かと問うと、熊田監督は迷うことなくこう答えた。40数年前、ただ旨い酒が呑みたいという単純な理由で結成された小さな町の草サッカーチームが、約半世紀の時を経て埼玉県の頂点に登り詰めようとしている。和を重んじるスタイルで創立時から何一つ変わらない奔放さと、高い競技力を両立させた異色のチーム、狭山ラトルズ SC を率いる熊田監督にインタビューを敢行した。

— 遅くなりましたが、まずは県リーグ1部昇格おめでとうございます。今の心境をお聞かせください。

「ありがとうございます。過去2年（2008、2009）も昇格を狙いながらもう一つの所を乗り越えられない状態が続いていたので、今回の優勝と県1部昇格は本当に嬉しかったです。3年分の喜びを爆発させました」

— 壁を乗り越えられなかった過去2年と、見事目標を達成した昨年、何が違ったのでしょうか。

「やはり5中村(元)、28波多、2日野の若手3選手が加入し最終ラインに安定感をもたらしてくれたことが大きいですね。それから入団2年目の23内川も完全にチームに慣れて本来の実力を発揮してくれました。ただ何と言っても既存選手達の成長が素晴らしかった。若手3選手の加入に触発された守備陣は競い合うようにプレーの質を上げてきましたし、ポテンシャルを生かしきれてなかった25東門や、21虫本も見事に攻撃陣を牽引し、後期全試合欠場となってしまった大黒柱15田嶋の穴を埋めてくれました。中盤の選手では序盤怪我で離脱した4中嶋、8細田(賢)の両ベテランも復帰後は大事な場面で大きな仕事をしてくれました。名前を挙げたらきりがないのでこの辺にしておきますが、あと二人だけ、中心選手としての自覚が芽生えた9山田と18細田(耕)の二人の成長は特に凄まじいものがありましたね」

— それでは今年の話をお伺いします。いよいよ県内トップリーグに挑戦するわけですが、チームの手応えは？

「手応え、正直蓋を開けてみないと分からないというのが率直な心境です。昨年2部開幕前から一貫して『昇格することが目的ではなく、1部で勝てるチームを作ることが目的』と言い続けながらリーグ戦を戦いました。実際開幕から11連勝し傍から見れば優勝が濃厚と思われた中でも、選手達は一つ一つの試合を1部で勝つ為の通過点と捉え全ての試合に高いモチベーションで臨み、優勝と昇格が決まった後もそこで満足する選手は誰一人としていませんでした。そういった意味では1部で戦う心の準備はできていると思います。ただこのチームは県内トップレベルのチームとの真剣勝負の経験がほとんどありません。もちろん練習試合では以前から関東リーグや県1部など格上チームに相手をしてもらっていますが、一試合一試合の重みが違うリーグ戦、しかもこれほどまでに高いレベルで拮抗した試合を連続して戦ったことがないというのが不安材料です」

— 厳しい戦いを想定されているようですが、順位として目標はどのくらいに設定されているのでしょうか。

「どのカテゴリーに所属していても常に全力で上位リーグへの昇格を目指すというのがラトルズのスタイルです。ですから今シーズンは4位以内に入り関東社会人大会への出場を目指すというのが目標になります。ただ先程も言ったように周りは全て百戦錬磨の強豪、ルミノッソ狭山はもちろん残留6チームや今年共に昇格した越谷FCもかなりの実績を持つ経験豊富なチームですし、全9チームの中で圧倒的に経験の乏しい我々が目標を達成させる為には相当な努力と忍耐力が必要になってくると思います」

— 4位以内という高い目標を達成させる為の戦い方のプラン、どのようにお考えでしょうか。

「まずはリーグ戦序盤の入り方が非常に重要になってくると思います。どのチームも間違いなく我々から勝ち点3を狙ってくる中で、序盤5試合でいかに勝ち点を積み上げることができるか。慣れないリーグ戦当初はどうしても相手のサッカーに対しリアクションしていくという形を強いられると思いますが、その苦しい展開の中で強い忍耐力を発揮し負けないサッカーを意識しつつ、勝ち点を拾い上げながら少しずつ自分達の形を構築していければ。そしてリーグ戦中盤以降には自分達のスタイルを存分に発揮して主導権を握れる時間帯・試合を増やし、他チームと対等に戦って熱い上位争いに割って入ることができればと思います」

— 最後になりますが、今シーズンを戦っていく上で一番大事なものの、それからこれまでチームを作ってきた中で熊田監督が一番大切にしてきたものを教えてください。

「和ですね。一体感、団結力、それしかないです。技術やフィジカル、戦術といったものももちろん大事ですが、チームとしてのまとまりがなければ効果は半減しますし、逆に並外れた一体感、団結力といったものがあれば多少実力的に劣っていたとしても対等以上のゲームを展開できると信じています。何より楽しいじゃないですか、まとまっていた方が。サッカーで頑張って、終わったらみんなで旨い酒を飲む。40年以上前に先輩達が作ったコンセプトは今でもここに生きています」

(インタビューア-宇津狩八兵衛)